

平成24年度協議のまとめ

平成25年2月

紀南地域高等学校活性化推進協議会

1 経緯

紀南地域では、平成16年、少子化の進行等社会状況の変化に対応するため、県教育委員会により、学識経験者、教育関係者、地域関係者等の委員からなる「紀南地域高等学校再編活性化推進協議会」が設置されました。協議会では、県教育委員会が策定した「県立高等学校再編活性化第二次実施計画」（平成16年12月）を踏まえつつ、当地域の県立高校のあり方について、2年間にわたり協議を行いました。協議の経過や内容は「紀南地域県立高等学校の再編活性化に向けて（最終まとめ）」（平成18年3月）としてまとめられ、「木本高校で6学級、紀南高校で3学級が維持できなくなった場合、①2学級規模の分校方式の導入、又は②6～8学級規模の高校として統合することを検討する」とするとともに、木本高校、紀南高校それぞれの再編活性化方針が定められました。

その後、この方針に基づき、両校の活性化の取組が進められてきました。しかしながら、少子化がさらに進行したこと等により、平成25年度入学者選抜における木本高校の募集定員が5学級となり、ふたたび当地域に協議会を設置して、地域の高校の今後のあり方について検討する必要が生じました。このことから、平成24年7月に当協議会が設置され、当地域の高校のさらなる特色化・魅力化と、適正規模・適正配置の観点から学習者にとって魅力ある学習環境を整えることについて、協議を行ってきました。

2 当地域の県立高校を取り巻く状況

- (1) 三重県の中学校卒業生数は、平成24年3月には18,224人でしたが、平成27年3月には17,728人になり、500人程度減少する見込みです。さらに、平成33年3月には15,719人になり、平成24年3月卒業生数と比べると、2,500人程度減少することが見込まれています。少子化の進行状況は地域ごとに異なっていますが、紀南地域においては次のような状況が見込まれています。

ア 平成27年3月には341人（平成24年3月比で38人減）になり、以後、平成30年3月まで同程度で推移することが見込まれています。

このことから、当地域全体の県立高校の学級数は、中学校卒業生の進路選択状況が現在と大きく変わらない場合、平成27～30年度の間、7～8学級になることが予測されます。

イ 平成31年3月には303人、平成32年3月には260人になることが見込まれます。

このことから、当地域全体の県立高校の学級数は、中学校卒業生の進路選択状況が現在と大きく変わらない場合、平成31年度には6～7学級になり、平成32年度には5～6学級になることが予測されます。

- (2) 一定数の中学校卒業生が、県内他地域や県外の高校等へ進学しています。
平成23年度 68人、平成24年度 55人

- (3) 紀北地域をはじめとする他地域の中学校を卒業し、当地域の県立高校に進学する生徒の数は、減少しています。
平成20年度 56人、平成24年度 22人
- (4) 平成24年度入学者選抜において、木本高校では20人、紀南高校では9人の欠員が生じました。

3 主な協議内容と今後の方向性

- (1) 当地域の県立高校は、「紀南地域県立高等学校の再編活性化に向けて（最終まとめ）」（平成18年3月）を踏まえ、木本高校では、習熟度別講座導入による進路希望に応じた学力の育成や部活動の充実等に取り組むとともに、紀南高校では、学校運営協議会設置による地域との連携強化や基礎学力の定着に取り組み、両校ともに特色化・魅力化が図られてきました。その一方で、一定数の中学校卒業者が地域外の高校等に進学するとともに、地域外の中学校を卒業して当地域の県立高校に進学する生徒数が減少しており、一層の特色化・魅力化が必要です。今後、このことを地域全体の協働により実現していくことが望まれます。
- (2) 今後の中学校卒業生数の減少を踏まえた中長期的な当地域の県立高校のあり方については、次のとおりとします。
- ① 紀南高校は1学年2～3学級、木本高校は1学年5～6学級の規模の単独校として、それぞれが存続することが望ましい。
 - ② 将来的に、地域状況を考慮し、紀南高校が1学年2学級、もしくは、木本高校が1学年5学級の維持ができないとき、両校の統合は避けられない。
 - ③ 今後、紀南地域の教育の活性化を推進するために、地域の小学校、中学校、高校の保護者および教職員、地域の教育行政関係者、そして、地元企業の代表者を含む地域協議会を設置し、絶えず地域の子どもの教育を地域全体で考えていくべきである。
- なお、このことに附帯して、将来的に両校を統合する場合、新高校を設置するにあたっては、既存の教育財産の活用が原則ではありますが、防災面等に配慮し、両校の現在地以外の新しい場所に設置することも検討する必要があると考えます。
- (3) 今後の具体的な取組として、来年度以降の協議会において紀南地域の教育の活性化推進について協議を進めます。
- また、現時点において、木本高校、紀南高校の特色化・魅力化に関して、学校ごとに次のような取組を進める必要があります。
- ① 木本高校は、サポート委員会（学校関係者評価委員会）の委員に地域関係者等を増員し、地域との連携を強化して、進学や部活動へのニーズや期待に十分応えることをはじめとした特色化・魅力化をさらに推進する必要があります。
 - ② 紀南高校は、地域住民や保護者が一定の権限を持って学校運営に参画する学校運営協議会制度を引き続き活用し、地域との密接な連携を土台として教育内容のさらなる充実を推進する必要があります。

三重県 中学校卒業者の推移と予測(含社会増)

平成24年5月1日 教育総務課調べ

		H 21. 3 卒業	H 22. 3 卒業	H 23. 3 卒業	H 24. 3 卒業	H 25. 3 現中3	H 26. 3 現中2	H 27. 3 現中1	H 28. 3 現小6	H 29. 3 現小5	H 30. 3 現小4	H 31. 3 現小3	H 32. 3 現小2	H 33. 3 現小1
桑名	卒業生数	2,153	2,229	2,160	2,164	2,133	2,248	2,212	2,169	2,158	2,035	2,079	1,993	1,912
	前年度対比		76	-69	4	-31	115	-36	-43	-11	-123	44	-86	-81
	H24.3対比					-31	84	48	5	-6	-129	-85	-171	-252
四日市	卒業生数	3,796	3,762	3,753	3,751	3,929	3,927	3,778	3,869	3,835	3,867	3,655	3,583	3,452
	前年度対比		-34	-9	-2	178	-2	-149	91	-34	32	-212	-72	-131
	H24.3対比					178	176	27	118	84	116	-96	-168	-299
小計	卒業生数	5,949	5,991	5,913	5,915	6,062	6,175	5,990	6,038	5,993	5,902	5,734	5,576	5,364
	前年度対比		42	-78	2	147	113	-185	48	-45	-91	-168	-158	-212
	H24.3対比					147	260	75	123	78	-13	-181	-339	-551
鈴鹿	卒業生数	2,419	2,456	2,360	2,508	2,472	2,640	2,558	2,640	2,507	2,534	2,473	2,401	2,211
	前年度対比		37	-96	148	-36	168	-82	82	-133	27	-61	-72	-190
	H24.3対比					-36	132	50	132	-1	26	-35	-107	-297
津	卒業生数	2,777	2,987	2,775	2,889	2,777	2,810	2,751	2,690	2,643	2,692	2,640	2,679	2,582
	前年度対比		210	-212	114	-112	33	-59	-61	-47	49	-52	39	-97
	H24.3対比					-112	-79	-138	-199	-246	-197	-249	-210	-307
伊賀	卒業生数	1,724	1,742	1,673	1,643	1,606	1,602	1,467	1,550	1,476	1,494	1,441	1,422	1,394
	前年度対比		18	-69	-30	-37	-4	-135	83	-74	18	-53	-19	-28
	H24.3対比					-37	-41	-176	-93	-167	-149	-202	-221	-249
小計	卒業生数	6,920	7,185	6,808	7,040	6,855	7,052	6,776	6,880	6,626	6,720	6,554	6,502	6,187
	前年度対比		265	-377	232	-185	197	-276	104	-254	94	-166	-52	-315
	H24.3対比					-185	12	-264	-160	-414	-320	-486	-538	-853
松阪	卒業生数	2,013	1,962	1,962	1,977	2,063	2,015	1,973	2,002	1,989	1,992	1,916	1,915	1,776
	前年度対比		-51	0	15	86	-48	-42	29	-13	3	-76	-1	-139
	H24.3対比					86	38	-4	25	12	15	-61	-62	-201
伊勢	卒業生数	2,555	2,704	2,508	2,558	2,447	2,396	2,307	2,293	2,265	2,198	2,091	1,987	1,852
	前年度対比		149	-196	50	-111	-51	-89	-14	-28	-67	-107	-104	-135
	H24.3対比					-111	-162	-251	-265	-293	-360	-467	-571	-706
尾鷲	卒業生数	367	371	360	355	328	309	341	290	285	275	244	232	255
	前年度対比		4	-11	-5	-27	-19	32	-51	-5	-10	-31	-12	23
	H24.3対比					-27	-46	-14	-65	-70	-80	-111	-123	-100
熊野	卒業生数	422	395	399	379	367	379	341	364	345	340	303	260	285
	前年度対比		-27	4	-20	-12	12	-38	23	-19	-5	-37	-43	25
	H24.3対比					-12	0	-38	-15	-34	-39	-76	-119	-94
小計	卒業生数	5,357	5,432	5,229	5,269	5,205	5,099	4,962	4,949	4,884	4,805	4,554	4,394	4,168
	前年度対比		75	-203	40	-64	-106	-137	-13	-65	-79	-251	-160	-226
	H24.3対比					-64	-170	-307	-320	-385	-464	-715	-875	-1,101
県内合計	卒業生数	18,226	18,608	17,950	18,224	18,122	18,326	17,728	17,867	17,503	17,427	16,842	16,472	15,719
	前年度対比		382	-658	274	-102	204	-598	139	-364	-76	-585	-370	-753
	H24.3対比					-102	102	-496	-357	-721	-797	-1,382	-1,752	-2,505

東紀州地域 中学校卒業者の推移と予測（含社会増）

平成24年5月1日 教育総務課調べ

		H 21. 3	H 22. 3	H 23. 3	H 24. 3	H 25. 3	H 26. 3	H 27. 3	H 28. 3	H 29. 3	H 30. 3	H 31. 3	H 32. 3	H 33. 3
		卒業	卒業	卒業	卒業	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1
尾鷲市	卒業生数	195	197	184	180	160	155	164	148	145	128	123	122	131
	前年度対比		2	-13	-4	-20	-5	9	-16	-3	-17	-5	-1	9
	H24. 3対比					-20	-25	-16	-32	-35	-52	-57	-58	-49
北牟婁郡	卒業生数	172	174	176	175	168	154	177	142	140	147	121	110	124
	前年度対比		2	2	-1	-7	-14	23	-35	-2	7	-26	-11	14
	H24. 3対比					-7	-21	2	-33	-35	-28	-54	-65	-51
小計	卒業生数	367	371	360	355	328	309	341	290	285	275	244	232	255
	前年度対比		4	-11	-5	-27	-19	32	-51	-5	-10	-31	-12	23
	H24. 3対比					-27	-46	-14	-65	-70	-80	-111	-123	-100
熊野市	卒業生数	183	163	164	190	157	163	144	144	136	152	129	108	118
	前年度対比		-20	1	26	-33	6	-19	0	-8	16	-23	-21	10
	H24. 3対比					-33	-27	-46	-46	-54	-38	-61	-82	-72
南牟婁郡	卒業生数	239	232	235	189	210	216	197	220	209	188	174	152	167
	前年度対比		-7	3	-46	21	6	-19	23	-11	-21	-14	-22	15
	H24. 3対比					21	27	8	31	20	-1	-15	-37	-22
小計	卒業生数	422	395	399	379	367	379	341	364	345	340	303	260	285
	前年度対比		-27	4	-20	-12	12	-38	23	-19	-5	-37	-43	25
	H24. 3対比					-12	0	-38	-15	-34	-39	-76	-119	-94
東紀州合計	卒業生数	789	766	759	734	695	688	682	654	630	615	547	492	540
	前年度対比		-23	-7	-25	-39	-7	-6	-28	-24	-15	-68	-55	48
	H24. 3対比					-39	-46	-52	-80	-104	-119	-187	-242	-194

入学定員の推移予測	H 2 6年度	H 2 7年度	H 2 8年度	H 2 9年度	H 3 0年度	H 3 1年度	H 3 2年度	H 3 3年度
	8学級程度	7～8学級	7～8学級	7～8学級	7～8学級	7～8学級	6～7学級	5～6学級

平成 24 年度 紀南地域高等学校活性化推進協議会委員

No		所属及び名前
1	学識経験者	三重中京大学 教授 大森 達也
2	地域有識者	熊野精工株式会社 野地本 道也
3		尾崎畜産御浜ファーム 尾崎 しほ子
4	県立高等学校長	県立木本高等学校 校長 土井 秀之
5		県立紀南高等学校 校長 勢力 稔
6	教育長	熊野市教育委員会 教育長 杉松 道之
7		御浜町教育委員会 教育長 田岡 隆
8		紀宝町教育委員会 教育長 長村 徹夫
9	紀南地区 P T A 連合会代表	会長 寺本 幸治
10	高等学校 P T A 代表	県立木本高等学校 P T A 会長 山本 浩司
11		県立紀南高等学校 P T A 会長 奥西 正守
12	同窓会・地域代表	県立木本高等学校同窓会 副会長 久保 治也
13		県立紀南高等学校学校運営協議会 副会長 廣畑 勝也
14	紀南地区小中学校校長会代表	御浜町立御浜中学校 校長 小林 庸泰
15	紀南地区小中学校教員代表	熊野市立飛鳥中学校 教諭 長嶺 智士
16	紀南地区高等学校教員代表	県立紀南高等学校 教諭 藤田 修